|  |
| --- |
| **市民税・府民税 減免申請書 兼　森林環境税 免除申請書** |
| 　（宛先）京都市長　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　納税義務者　　住　　所　　氏　　名 　　電話番号 （　　　　　）　　　　　　　―　　下記のとおり、市民税・府民税及び森林環境税の減免・免除を受けたいので、別添書類を添えて申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　　度 | 納　期　等 | 税　　　　額 |
| 年度  | 月分　以降期　以降  | 円  |

減免・免除を受けようとする理由　　□現在、失業中により収入がなく納付が困難なため（雇用保険受給中・その他）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□その他により納付が困難なため（減免・免除を求める理由を具体的に記載してください。）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（以下は記入しないでください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　　　　変　更　後 | （納付書の交付) |
| １(随) | 　円 | 済・未 |
| ２ | 円 | 済・未 |
| ３ | 円 | 済・未 |
| ４ | 円 | 済・未 |
| 年金特徴 | 円 |  |
| 給与特徴 | 円 |  |
| 年 税 額 | 円 |  |

□京都市市税条例第３５条第１項第　　号□京都市市税条例第３５条第１項第４号、京都市市税条例施行細則第４条の４第　　号□森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第11条第　　項

|  |
| --- |
| 総所得金額等の合計額　　　　　　　　　　円（合計所得金額　 　　　　　　　　　　円） |
| 同配　　　あり・なし　　　　　扶養　　　　人月期 |
| 変　更　後 | 適用期　 　･修正期　 　月期 |
| 減免割合 |  (　　　　)　割減免・免除 |
| 森林環境税 | 免　除 | 特繰開始期　　　　月期 |
| 納期未到来額　　　　　　　　円 |
|  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 決　裁　欄 | 課　長 | 係　長 | 係　員 |
| 　 | 　 | 　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 納税者コード |  |
| お問合せ番号 |  |

202406 |

**京都市市税条例**

**第35条**

市民税の納税者が次の各号のいずれかに該当し、市長が必要があると認める場合においては、当該各号に掲げる金額を減免する。ただし、減免すべき事由が発生した日までに経過した納期に係る納付額（第32条の５第１項の規定により徴収するものにあってはその事由が発生した日の属する月前に係る月割額、同条第２項ただし書の規定により徴収するものにあってはその事由が発生した日前に支払われた給与又は退職手当等から徴収されるべき額、第32条の８の６の規定により徴収するものにあってはその事由が発生した日の属する月前に係る支払回数割特別徴収税額（第32条の８の５第２項に規定する支払回数割特別徴収税額をいう。）、第32条の８の８第１項の規定により徴収するものにあってはその事由が発生した日の属する月前に係る支払回数割仮特別徴収税額（同条第３項により読み替えられた第32条の８の５第２項に規定する支払回数割仮特別徴収税額をいう。））については、この限りでない。

1. 生活保護法の規定による保護を受ける者

税額の全部

(２)　雇用保険法の規定による失業給付受給資格者

ア　前年の総所得金額、退職所得金額及び山林所得金額の合計額（以下「総所得金額等の合計という。）が1,100,000円とその者の同一生計配偶者又は扶養親族１人につきそれぞれ300,000円の割合で計算して得た額との合計額以下のもの

税額の全部

イ　総所得金額等の合計額がアに規定する額を超え、1,600,000円とその者の同一生計配偶者又は扶養親族１人につきそれぞれ300,000円の割合で

計算して得た額との合計額以下のもの

税額の10分の５相当額

1. 震災、風水害、火災その他これらに類する災害を受けた者

市長が定める額

1. 前３号に掲げる者のほか、特別の事情がある者

市長が定める額

３　第１項の規定により市民税の減免を受けようとする者は、普通徴収に係る者にあっては納税通知書を発した日から当該通知書に指定された納期限までに、特別徴収に係る者にあっては直ちに減免を受けようとする事由を証明する書類を添付した申請書を市長に提出しなければならない。

**京都市市税条例施行細則**

**第４条の４**

条例第35条第１項第４号に規定する特別の事情がある者は、次の各号のいずれかに該当する者とし、市長が必要と認める場合においては、当該各号に掲げる金額を減免する。

1. 雇用保険法第６条の規定により雇用保険の被保険者とされない者で失業しているもの又は疾病、負傷その他特別の事情により失業している者

ア　総所得金額等の合計額が1,100,000円とその者の同一生計配偶者又は扶養親族（年齢16歳未満の者及び法第314条の２第１項第11号に規定

する控除対象扶養親族に限る。以下この条において同じ。）１人につきそれぞれ300,000円の割合で計算して得た額との合計額以下のもの

税額の全部

イ　総所得金額等の合計額がアに規定する額を超え、1,600,000円とその者の同一生計配偶者又は扶養親族１人につきそれぞれ300,000円の割合で計算して得た額との合計額以下のもの

税額の10分の５相当額

1. 総所得金額等の合計額に対する法第313条の規定の例により当該年の所得について仮に算定した総所得金額、退職所得金額及び山林所得金額の合計額の割合（以下「所得の変動割合」という。）が10分の７以下となる者。ただし、総所得金額等の合計額が1,600,000円とその者の同一生計配偶者又は扶養親族１人につきそれぞれ300,000円の割合で計算して得た額との合計額以下の者に限る。

ア　所得の変動割合が10分の５以下となるもの

税額の10分の５相当額

イ　所得の変動割合が10分の５を超えるもの

税額の10分の３相当額

（３）、（４）　略

**森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律**

**第十一条**

市町村長は、次に掲げる者に対しては、政令で定めるところにより、森林環境税を免除する。

**一**　震災、風水害、落雷、火災その他これらに類する災害により生命、身体又は財産に甚大な被害を受けた者として政令で定める者

**二**　生活保護法の規定による生活扶助その他これに準ずるものとして政令で定める扶助を受けている者

**三**　失業又は廃業により収入が著しく減少したことその他の政令で定める特別の事情により森林環境税の納付が困難と認められる者